

## CT 検査を受けられる患者様へ

### CT とは

X線撮影とコンピューターとを組み合わせ、検査を必要とする器官の断層画像（Tomography）を形成する装置です。コンピューターを使うことで画像解析の精度が向上し、画質がより鮮明になりました。

### 検査前の準備

#### 造影剤を注射しない場合

準備は不要です。すぐに検査を受けることができます。

### 検査前の準備

#### 造影剤を注射する場合

1. 検査の最低 4 時間前から水や食事を摂らないで下さい。
2. 腎機能検査（Creatinine）のために採血をします。または、6 か月以内の血液検査の結果を見ます。
3. 持病や各種アレルギー（薬、魚介類、造影剤など）の既往について問診を受けて頂きます。
4. 患者様または親族の方に、検査同意書に署名して頂きます。

### 検査手順

1. 造影剤を注射する場合は、持病や各種アレルギー（薬、魚介類、造影剤など）の既往について問診を受けて頂きます。
2. 病院の検査着に着替えて下さい。
3. 金属製の装飾品や検査の妨げになるものは外して下さい。
4. 鮮明な画像を得るため、検査中は X 線検査台に寝たまま、動かないで下さい。
5. 血圧と血中酸素濃度が計測されます。何らかの異常を感じられた場合は、すぐに医師または担当者にお知らせ下さい。
6. 検査時間は、検査内容によって 30 分から 1 時間程度かかります。

### 検査後

1. 検査後は、造影剤の排泄を促すために水分を沢山摂って下さい。
2. 発疹や吐き気、嘔吐など、異常な症状があらわれた場合は、すぐに医師にお知らせ下さい。

### 造影剤の注射

検査を必要とする器官を周囲の器官から際立たせるために、ヨウ素を主成分とする薬剤を注射します。これにより、X 線写真がより鮮明になり、閉塞のある位置や器官の構造の異常などを更に正確に把握することが出来ます。造影剤の注射に際しては、以下のレベルに分けられるアレルギー症状が発生する可能性があります。

### **造影剤アレルギー症状**

1. 低レベル：治療の必要はなく、自然に治癒します。吐き気、嘔吐、咳、くしゃみ、喉の違和感、発疹、蚊に刺されたような膨らみ、蕁麻疹など。
2. 中レベル：治療が必要な症状です。蕁麻疹、重い吐き気・嘔吐、目の腫れ、顔のむくみなど。複数の症状が同時に出ることもあります。
3. 高レベル：息苦しさ、かすれ声、倦怠感、呼吸困難、意識消失など。発生の可能性は非常に低いですが、放射線技師や担当者はこうした症状が発生した患者様に対する応急処置訓練を受けています。

### **造影剤アレルギーのリスクのある患者様**

- 造影剤アレルギーの既往がある方
- 魚介類アレルギーの既往がある方
- 喘息アレルギー（Allergy）の既往がある方
- 心臓病の既往がある方
- 糖尿病の既往がある方
- 腎機能障害の既往がある方

**上記のリスクのある患者様は、検査前に必ず医師にお知らせ下さい。**

**サミティヴェート病院スクムビット**